



杉木 勉 議員
(灘会)



起工式の様子

代表質問

■能越自動車道田鶴浜七尾道路について

「二日でも早い開通を！」という熱意ある要望活動を！

質

令和2年8月、起工式が行われ、輪島道路と同時開通になるのかと能登全体の期待が高まった。さらに、国の令和2年度第3次補正予算で2億円の補正が計上されたが、工事の進捗状況を伺う。

また、これまで多くの関係者が、毎年要望活動を行っており、市長はその思いをしっかりと継がねばならない。型どおりの要望では全国みな同じ。気持ちがどう伝わるかが大事で、市長の熱意が問われる。一日でも早く開通させるとの思いがなければ開通は遅れると心配するが、どのように考えているか伺う。

答

現在、七尾インターチェンジ周辺で地盤改良工事が進められている。国の補正予算の追加により工事が前倒しされ進むと思っている。平成30年度から着手している用地取得は、令和2年度末には面積ペースで約3割の取得が完了する見込みである。

国・県への要望は必要である。能越自動車道は、今まで様々な形で携わってきた方々の血のにじむような努力で進められてきた。その意思をしっかりとくみ取り、関係者のみなさまと力を合わせながら、私自身のあらゆるパイプを使って、実現のため一生懸命頑張っていく。



代表質問

■公共施設の管理対応について

市民による通報システムを構築し活用せよ！

質

市民生活に密接に関わる公共インフラ（道路、橋、上下水道など）の管理には大きな管理費が必要であり、その財政負担の抑制のため、点検作業の効率化は効果的な運営の維持につながる。

本市土木課のAIを活用した橋の点検に、今では誰でも持っているGPS機能が充実しているスマートフォンで、問題箇所を撮影し、報告してもらうシステムをつくりあげ活用すべきと考える。早期発見と事故防止のための速やかな対応ができるとして、既に全国で50の自治体で実用化が進んでいる。これはまさに、行政と市民の連携プレーであり、取り入れるべきと考えるがいかがか。

また、本市の公共インフラで気になるのが下水道事業である。下水道整備の進捗状況を伺う。

答

AI、IOPの活用による市民通報システムは、先進自治体で道路や公園等の損傷状況の報告に使われはじめています。位置情報や写真で損傷位置や状況が明確にわかり、一定のメリットは感じるが、独自システムの開発には開発費や維持管理に多額のコストがかかる。また、市民への周知が必要であり、異常箇所発見に地域格差が出ることも考えられる。

現在、職員による道路パトロール、専門業者による公園施設の点検を実施している。また、郵便局との協定により、道路の大きな損傷を見つけたら報告を受けることとなっており、先進自治体の取組みを勉強しながらシステム導入の可否を見極めていく。

【下水道施設の状況】

- 田鶴浜、中島、能登島地区は終了
- 七尾地区は整備中
540ヘクタールが終了（全体の40%）
- 普及率は70.5%



永崎 陽 議員
(新政会)



AIによる橋梁点検の様子